

「ドリフト補正システムを装備したナノ CT による腎系球体の三次元構造解析」に対するご協力をお願い

研究責任者 橋口 明典
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 電子顕微鏡研究室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2000 年 3 月 31 日までの間に、当院にて病理解剖を行った患者さん

2 研究課題名

承認番号 20241066

研究課題名 ドリフト補正システムを装備したナノ CT による腎系球体の三次元構造解析

3 研究組織

研究機関	研究責任者
慶應義塾大学医学部電子顕微鏡研究室	専任講師 橋口 明典

4 本研究の目的、方法

近年、慢性腎臓病は世界的な増加傾向にあります。その原因となる疾患を確定することが、慢性腎臓病に対する適切な治療や予防に繋がります。慢性腎臓病は腎生検組織を用いた病理診断により最終診断を確定しておりますが、本邦において関わる専門医師は不足しており、腎病理診断を支援する技術を開発することで、多くの患者の皆様専門的で詳細な診断がなされる必要があります。この研究では、腎臓病の病理組織を三次元的に観察し、病変を見つける技術を検討します。開発した技術が医師の助けとなり、多くの慢性腎臓病を有する患者さんに最善の医療を安定的に供給することが期待されます。

5 協力をお願いする内容

2000 年 3 月 31 にまで、慶應義塾大学病院で病理解剖が施行された患者さんの病理組織ブロックを使用させていただきます。剖検報告書のデータを使用し対象となるブロックを決めさせていただきます。病理解剖で組織標本作製するために採取された組織をホルマリン固定後、パラフィン内に埋め込んだ組織ブロックで、病理学教室に保管されています。約 20 x 10 x 3 mm 程度の腎組織ブロックから、数 mm 角の組織を採取しナノ CT で観察させていただきます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日 ~ 2026 年 03 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究機関名：慶應義塾大学医学部電子顕微鏡研究室

住 所：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

電 話：03-5363-3764（病理学教室・直通）

FAX：03-3353-3290（病理学教室）

Email: akinoh@keio.jp

実務責任者氏名：橋口 明典（はしぐち あきのり）

電話連絡可能な時間帯：火・水・金、9 時 ~ 17 時

以上